

近況報告(現状と課題・取り組み)

(1)施設福祉サービス部

① 特別養護老人ホーム阿品清鈴

現状と課題	取り組み
<p>1. 介護保険の改正に伴い、ケアに対する加算事項を再度見直し、認知症専門ケア加算・経口維持加算(Ⅰ)と今回新設された褥瘡マネジメント加算を新たに申請した。体制に対して加算されるものと個別に加算されるものや、3ヶ月・6ヶ月毎に評価して加算されるものなど、申請等が複雑なので、現在も確認作業に追われている現状にある。今年度中には、経口維持加算(Ⅱ)・ショート認知症専門ケア加算の取得に向けて準備している。</p> <p>2. 入・退所及び入・退院等、ご利用者の変動が激しく、各部署共にいつも以上に業務量が増えた上半期だった。特に、入所の方の中には、入院・逝去される方もおられ環境の変化からくるストレスも考えられる中、どのような対応方法が可能か課題である。入・退院に関しては、7月下旬から8月中旬まで、職員・ご利用者共に体調不良者が続出して、ご利用者が一時期は過去最高の入院者(すべて肺炎ではないが・・・)9名という事態に至った。早期に保健所に連絡・相談するが、報告のみの指示であった。最終的には、入院先で6種類のウィルス検体検査を実施されたが、結果的にはすべて陰性で原因不明であった。</p>	<p>1. 認知症ケアに関しては、計画的にOFF-JTを実施してきた事で、今年度の加算取得に繋がった。新たな加算取得等により、それぞれの専門的な知識や技術向上に向け、更に研鑽に励んでいきたい。尚、認知症ケアに関しては、今年度の事業計画に盛り込み、研修に参加した職員が講師になって計画的な研修を実施中である。</p> <p>2. 環境の変化については、以前から在宅待機者の方々には、ショートステイを事前にご利用頂き、ご利用者も職員もなじみの関係作りをしてきた所であるが、最近は病院や他施設で入所を待たれている方も多く、難しさを感じている所ではあるが、引き続き、ショートステイのご利用はお勧めしていきたい。感染症予防に関しては、出勤前の体温測定・記録、手洗い・うがい、マスク着用や、換気としての窓開けを夏場は1日2回(朝・夕)、冬場は1日3回(朝・昼・夕)と加湿器設置等を実施して予防に努めてきた。引き続き、予防に努めながら体調の変化に注意していきたい。</p>

② ケアハウスささえ

現状と課題	取り組み
<p>1. 二人部屋の退居あり、8/31 現在、空き室が3部屋になった。</p>	<p>1. 新しいパンフレットを待機者に配布、意向確認した。また二人部屋の空き室をモデルルームとして案内・宿泊体験できるよう整備し、待機者に案内し、ホームページにアップした。その結果、宿泊体験希望者や問合せあり、9月の二人部屋の入居につながっ</p>

	た。また、ホームページで知ったとの見学者もあり。地域のイベントにチラシ持参し案内もしている。引き続き広報活動を行う。
--	--

(2) 在宅福祉サービス部

① 短期入所生活介護事業所第2 清鈴園(ショートステイ)

現状と課題	取り組み
<p>1. 介護報酬改定で、減算となった。</p> <p>2. 稼働率が低迷している。入院したためにキャンセルとなるケースが多い。また、入院が延長になり、直前でキャンセルとなる事でベッドコントロールを難しくさせている。</p> <p>3. ご利用者のケアや入院中の様子、自宅での変化等が共有できていない。</p>	<p>1. ケアに対する加算事項を見直し、認知症専門ケア加算の算定に向けて準備を行っている。特別養護老人ホームと一体的に研修を実施し、専門的な知識や技術向上に向け、更に研鑽に励んでいる。</p> <p>2. 空室情報の発信が十分できていないので、定期的な情報発信を行い、緊急受入に対応できるよう行っていく。</p> <p>3. 係の目標として「介護に対する思いの背景にある状況を理解し、発信していく為に送迎時等意識してお声掛けを行う」とした。また、上司に知らせておかなければいけない情報についてはネットの掲示板を利用し、周知している。</p>

② デイサービスセンター第2 清鈴園(一般型)

現状と課題	取り組み
<p>1. 入院、入所によりご利用者数が減ってきている。</p> <p>2. ご利用者の満足度向上と、新たな取り組みによる職員のモチベーション向上を両立させたい。</p>	<p>1. 介護保険加算サービスとしての訓練対象ご利用者以外の方々にも、機能維持・回復に資する活動を提供し、お元気になっていただくことで、在宅生活の継続・デイサービスの利用継続が可能となるよう検討中。</p> <p>2. 今年度中にアロマセラピーを導入し、活動時は覚醒を促しより活動的に、活動後はクールダウンして穏やかなお気持ちで地域に帰ることができるようになることを目指すなど、担当者を中心に検討中。</p> <p>2-2. 誕生日を迎えられたご利用者を個別或いは小グループでの外出へお連れしている。「来年に向けて訓練を頑張らないと」「違うところにも行きたいから、来年も元気でいない</p>

3. デイサービスに際立った「特色」がない。	とね」とご利用者からはご高評いただいている。しかしながら、外出自体を希望されない方もおられ、そういった方々への対応について検討をしている。 3. 1.2.3.が、デイサービスの「特色」の一つとなるように取り組んでいく。
------------------------	--

③ デイサービスセンター第2 清鈴園地御前北2丁目集会所(愛称:お〜い予防教室)

現状と課題	取り組み
1. 8月下旬現在、午前保険内枠1名、保険外枠なし。午後保険内枠なし、保険外枠1名の空きがあるのみとなっているが、この夏の暑さのため、保険内の利用者が体調不良などで長期欠席をされ利用率が落ちている。 2. より楽しく効率的な活動を目指して、健康講座の定期的な実施を検討している。	1. 涼しくなるにつれ落ち着いてくるとは思うが、状態変化者もいるため枠に空きが出るのが考えられる。サロン等への訪問を通してPRを行うことを検討中である。 2. コグニサイズのマニュアルに載っている健康講座を予防教室用にアレンジ出来ないかを検討している。まずは秋に屋外での歩行活動が行う予定で調整中である。(健康講座は3ヶ月毎に行い、知識的な活動や屋外での活動を通して、参加意欲の向上や健康意識の向上を目的としている)

④ デイサービスセンター第2 清鈴園本町集会所(通称:本町デイ)

現状と課題	取り組み
1. 入院、入所によりご利用者数が減ってきている。	1. デイサービス一般係からの移行を進めている。現状2.3名の候補者を挙げ、調整中である。

⑤ デイサービスセンター第2 清鈴園廿日市一丁目集会所(通称:廿日市デイ)

現状と課題	取り組み
1. 介護保険内の新規契約がない。保険外の枠は埋まっている。 2. より楽しく効率的な活動を目指して、健康講座の定期的な実施を検討している。	1. 居宅に定期的PRを行っている。また、9.10月に同集会所で行われているサロンへの訪問を予定している。また、保険外利用の方のニーズを把握し、スムーズな介護保険の利用を心がけている。 2. コグニサイズのマニュアルに載っている健康講座を予防教室用にアレンジ出来ないかを検討している。まずは秋に屋外での歩行活動が行う予定で調整中である。(健康講座は3ヶ月毎に行い、知識的な活動や屋

	外での活動を通して、参加意欲の向上や健康意識の向上を目的としている)
--	------------------------------------

⑥ 認知症専用デイサービスセンター第2 清鈴園(愛称:ここの音)

現状と課題	取り組み
1. 認知症の進行や高齢化により、身体介護が必要なご利用者が増加してきている。	1. 環境整備を昨年度から重点的に実施し、プライバシーに配慮しながら寛げる環境を提供できるように努めている。
2. 高齢化に伴い、体調不良者や入院者が増えているため稼働率が低迷している。	2. 現ご利用者の臨時利用を積極的に受け入れている。

⑦ 訪問介護事業所第2 清鈴園

現状と課題	取り組み
1. 生活支援員の資質向上とコミュニケーションをはかる。	1. 6月と8月に研修を実施。
2. 施設入所、入院などで、訪問件数が減少した。	2. 資質向上に取り組み、他居宅へ利用状況を配信していく。

⑧ 居宅介護支援事業所第2 清鈴園

現状と課題	取り組み
1. 入院・入所者数が増えた。	1. 早期に入院先にご本人様の情報を提供し在宅復帰に向け支援を行う。また、ご家族やご本人様のご意向を確認し、状況に応じた入所先の情報を提供する。
2. 新規のケース相談が昨年と比較し少ない。	2. 一つひとつのケースに真摯に向き合い地域の信頼を得る。

(3) 福祉総務部

① 廿日市市配食サービス

現状と課題	取り組み
1. ボランティアの減少と高齢化。	1. 社協、包括、関係者との状況把握を行う。
2. 配食数の減少。	2. 配食の利用条件の緩和により、増加を期待したが、減少したまま横ばいが続いている。

② 認知症高齢者家族やすらぎ支援事業

現状と課題	取り組み
1. ご利用者がなかなか増加せず、訪問可能な支援員が待機している。	1. 市担当課、地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所とも連絡を取りながら、やすらぎ支援事業のPRにつとめる。

③ 出張介護教室・出前コグニサイズ

現状と課題	取り組み
<p>(出張介護教室)</p> <p>1. 阿品台、地御前と近隣を中心に介護教室を開催した。新たな場所での開催もあった。</p> <p>(出前コグニサイズ)</p> <p>1. 4～7月の間、地御前市民センターでのサロンにてシリーズで開催した。年度後半でも再度シリーズでの開催依頼有。</p> <p>2. フジグランナタリーの空テナントをお借りして、毎月定例開催したが、テナントの工事の為、一旦休止となった。</p> <p>3. 大竹市の社会福祉協議会からの依頼で、大竹市サロン世話人対象に開催した。恒例になりつつある。</p>	<p>(出張介護教室)</p> <p>1. 引き続き、阿品・阿品台地区、地御前の住民の集いを中心に参加させていただくとともに、先方のニーズに応じた内容を立案、提案していく。</p> <p>(出前コグニサイズ)</p> <p>1. 年度後半の開催計画を立案し、先方と協議しつつ、地区や参加者のニーズに沿った内容を組み立てる。</p> <p>2. フジグランナタリーの工事の進捗や空きテナントの状況を確認し、今後の取り組みについて計画立案をすすめる。</p> <p>3. 出前コグニサイズのPRを継続し、基本的には廿日市市内を中心に取り組む。</p>

④ その他

現状と課題	取り組み
<p>(人材育成)</p> <p>1. 階層別研修を計画的に開催し、部署間実習や他施設との相互実習を継続している。</p> <p>2. 中堅2を対象とした研修のカリキュラムを見直した。</p> <p>(やすらぎ支援員養成基礎研修)</p> <p>1. 特に廿日市市の広報で情報を得た方が9名受講されたが、受講者の私用で受講を1名中止され、修了者は8名となった。</p> <p>2. 今年度第2回目の講座を9月28日より開催予定。</p> <p>(廿日市市介護予防・生活支援員養成研修)</p> <p>1. 今年度第1回目の研修を5月に開催し、14</p>	<p>(人材育成)</p> <p>1. 部署間実習はすすめているが、他施設との相互実習の調整が双方の都合もありすすんでいない。</p> <p>2. これまでの基本的な内容をもとに、中堅2に特に求める能力として「自己理解・自己覚知」及び「チームワーク・メンバーシップ」とポイントを定め、研修内容も大幅に見直した。</p> <p>(やすらぎ支援員養成基礎研修)</p> <p>1. 修了者が活動に結びつくように、ボランティア活動やさろんなどの活動に積極的に繋げていく。</p> <p>2. 市の広報や西広島タイムス、公共施設への掲示などにより、定員10名いっぱいの受講者を目指す。</p> <p>(廿日市市介護予防・生活支援員養成研修)</p> <p>1. 今年度第2回目の研修を9月より開催。前</p>

<p>名が修了した。</p> <p>2. 講座を修了者が生活支援員として就労につながるようにまずは実態調査を実施。</p> <p>(介護のお仕事きっかけ講座)</p> <p>1. 今年度第1回は4名が受講した。受講後に介護関係の復職に2名が繋がった。</p> <p>(ハーモニーOBG活動支援)</p> <p>1. 職場体験実習</p> <p>◇ 2か月に1回、原則土曜日に、社協大野事務所と連携して、職場体験の機会をもっている。</p> <p>◇ メンバーの生活環境の変化や、ジョブコーチの不足、活動のPR不足などの状況がある。</p> <p>2. 鍋奉行活動支援</p> <p>◇ さろん阿品や喫茶をお貸しして、活動の機会を持っているが、メンバーの環境の変化、ボランティアの減少などもあり、親御さんの負担も増している。</p> <p>(カフェなかま)</p> <p>◇ 毎週木曜日に喫茶ポッポをお貸しして、500円程度のランチを提供している。</p>	<p>回の評価をいかし内容を組み立てる。</p> <p>2. 調査結果を元に、廿日市市担当課とも協議をすすめ、修了者の就労率を高めていく。</p> <p>(介護のお仕事きっかけ講座)</p> <p>1. 徐々に受講者が増加している。復職支援に繋がるように、コーディネートの在り方等の整理をしていく必要がある。</p> <p>(ハーモニーOBG活動支援)</p> <p>1. 職場体験実習</p> <p>◇ 社協大野事務所、ハーモニーメンバーと協議しつつ、社協のホームページで活動報告として発行している紙面を掲載し、引き続き活動紹介やジョブコーチ募集につなげる。今一度、メンバーやご家族の活動への思いを社協から伺う機会を持つ。</p> <p>(カフェなかま)</p> <p>◇ 職員向けの提供、施設外からの来客にも対応できるよう毎回20食準備しておられる。持ち帰りを希望する場合にはお弁当として提供をしていただける。</p>
---	---